

6.3.3 公共交通の魅力向上

(1) 公共交通の魅力向上に向けた課題

バス利用環境に関する改善ニーズとして「鉄道との乗り継ぎ利便の向上」「バス待ち環境の改善」「バス位置情報の提供」が比較的高くなっています。

このため、中心商業地区へのアクセスする多くのバス路線が集中する東三条駅～一ノ木戸・本町商店街を対象に、改善ニーズに対応した施設整備を進めるとともに、商業施設を回遊できるバスや親しみの持てるバスデザインの導入などにより新たな価値を付加し、公共交通の魅力を高めていく必要があります。

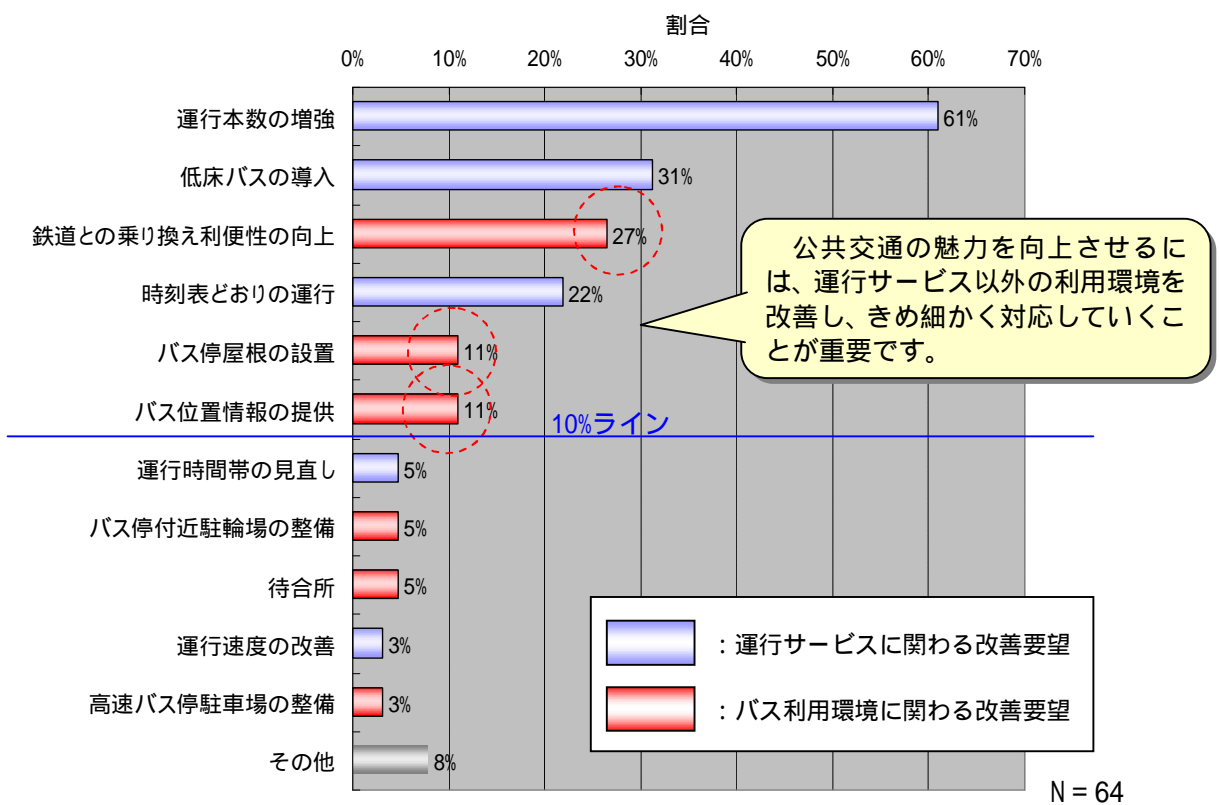


図. 三条地区内バス利用者の改善要望

(資料)三条市の公共交通に関するアンケート調査(H19年12月実施)

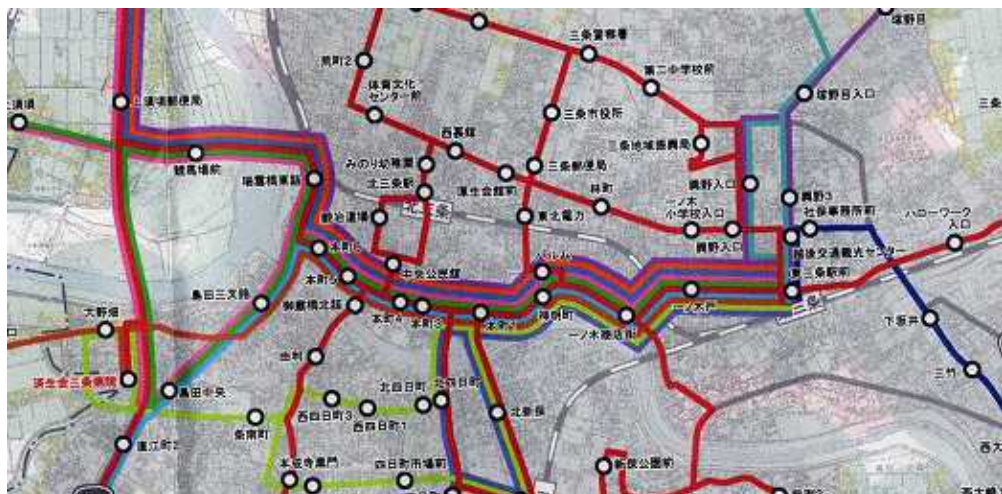


図. 多くのバス路線が集中する市中心部

(2) 公共交通の魅力向上に向けた施策メニュー

**施策 3-1 : 東三条駅前ターミナルの充実(地域情報の発信など)**

・ 各方面のバス・鉄道が集中する東三条駅の交通結節機能を強化するとともに、鉄道利用者だけでなく多くの人々が集う地域拠点施設としての特性に着目し、観光情報など地域の情報発信やコミュニティ拠点としての機能を充実させます。

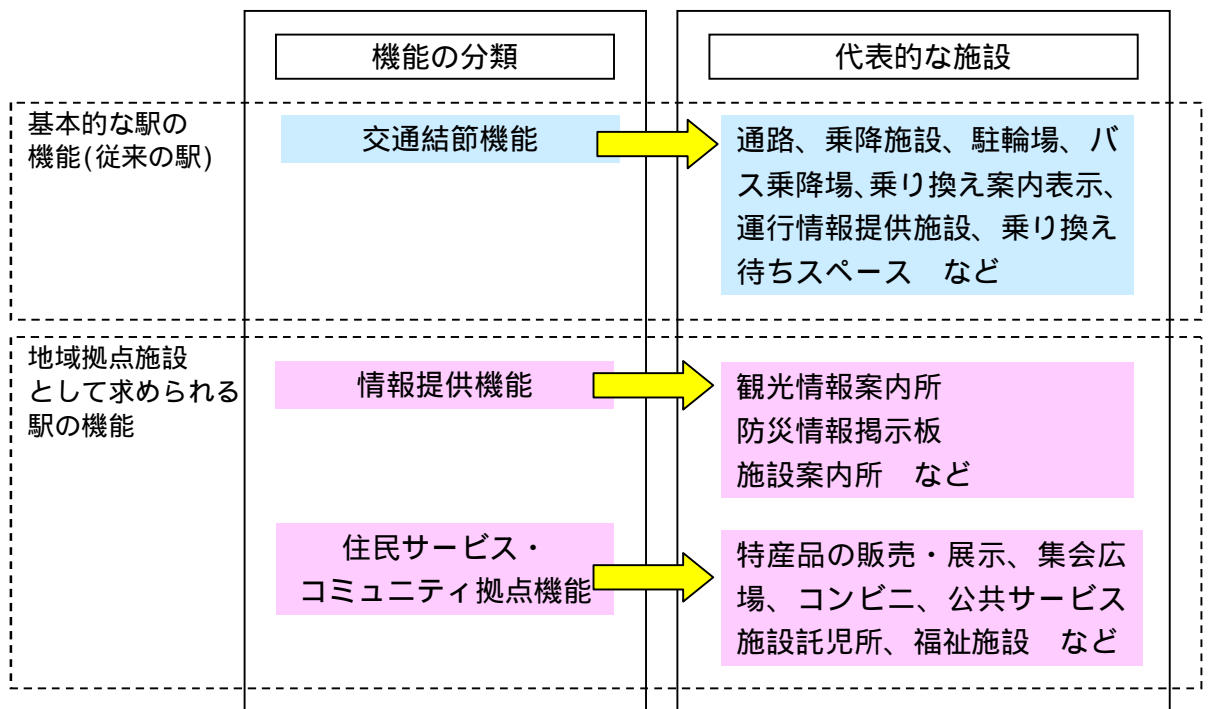


図. 地域拠点駅として求められる駅の機能



図. 東三条駅の現状

**施策 3-2 : バスロケーションシステムの導入**

- ・バスロケーションシステムを整備し、情報板や携帯端末、インターネットを介して、利用者にバスの位置情報を提供します。

(事例) 京都市内のバス停における位置情報表示



**施策 3-3 : バス停のハイグレード化**

- ・各方面のバス路線が密集し利用者が多い東三条駅～一ノ木戸・本町商店街を対象に、バス停に上屋やベンチを整備します。

(事例) 盛岡市内におけるハイグレードバス停





**施策 3-4 : 買い物利便性の向上に向けた主要駅と市街地商店街**

**および大規模小売店舗を結ぶバスの運行**

- ・ 買い物利便性の向上に向け、主要駅と市街地商店街および郊外大規模小売店舗を結ぶ休日買物に対応したバスを運行します。



図. 買い物利便性向上に向けたバスの経由地(案)

**施策 3-5 : 地域にとって親しみの持てるバスデザインの導入**

- ・ 地域住民がより愛着を持ってバスを利用していただくため、親しみがあるバスデザインを導入します。

(事例) 金沢ふらっとバス(金沢市ふらっとバス)



- ・ 遠くからでも、分かりやすいデザイン
- ・ 地域オリジナルで、親しみの持てるデザイン

(事例) ムーバス(武蔵野市コミュニティバス)



**施策 3-6 : 鉄道とバスの乗り換え利便性の向上****(鉄道・バス共通支払いカードの導入など)**

- ・鉄道とバスの乗り換えを円滑にするため、ICカードを活用した共通支払いカードを導入します。

